

2022年4月20日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

## ウッドテックを大成温調に譲渡

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長 安東 泰志、以下「当社」）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下、「NH3」）は、本日、ウッドテック株式会社（本社 千葉県印西市、代表取締役 小野寺弘行、以下「ウッドテック」）の全株式を保有する特別目的会社（ホライズン5株式会社）の全株式を、大成温調株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長執行役員 水谷憲一、以下「大成温調」）に譲渡することを決定し、株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせします。株式の譲渡は2023年5月8日に実行される予定です。

大成温調とウッドテックは、両社の得意分野である設備工事において、特に消火設備工事における連携が可能であり、大成温調グループに参画することで高いシナジー効果を発揮できると考えております。大成温調とのノウハウ共有等により、両社がより質の高いサービスを提供することが可能となることから、ウッドテックの持続的な成長が期待できる最適な事業パートナーであると判断し、今回の譲渡を決定いたしました。

当社では、NH3 によるウッドテックの株式譲受以降、PRI 責任投資原則に基づき、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の観点からバリューアップを展開して参りました。以下に具体的なバリューアップの結果についてお示しいたします。

### 【Environment（環境）】

- ・ これまでの会議室への集合形式で実施していた会議を廃止し、Web 会議システムを導入することで各自の担当現場などの遠隔地から会議に参加できるようになりました。これにより、担当現場や営業先から会議室への移動時間が大幅に削減され業務の効率化が達成されました。また、不要な移動が削減されたことで営業車の稼働による CO<sub>2</sub> の削減を実現いたしました。（SDGs ゴール 13：気候変動に具体的な対策を）
- ・ ワークフローシステムを導入し、紙の稟議書類の作成、回覧及び保管を廃止いたしました。電子稟議の採用により、拠点を跨ぐ移動の削減とペーパーレス化を実現しました。また、回覧書類や保管書類をデータ化しクラウドへ保管することで拠点間の移動の削減、ペーパーレスの実現、適時的確な情報把握が可能となり、環境負荷の低減と

中小企業のDX化推進に寄与しました。(SDGs ゴール13:気候変動に具体的な対策を)

#### 【Social (社会)】

- ・ デイリーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の考え方にに基づき、努力した人が正しく評価される人事制度の構築と、公平公正な評価を実現する評価制度の構築を実施いたしました。(SDGs ゴール8:働きがいも経済成長も)
- ・ 当社では、投資先の業績は従業員の皆様の頑張りにより実現されるものと認識しており、この考え方にに基づき従業員の皆様への利益還元に注力しております。2022年の給与支給実績は投資以前の2019年比において、給与支給額は114.9%に、賞与支給額は122.2%に、給与と賞与を合わせた支給総額は116.2%となりました。(SDGs ゴール8:働きがいも経済成長も)
- ・ バリューアップ施策の柱として人材採用力の強化を挙げて各種施策に取り組みました。その結果、投資前の2019年12月末時点で、従業員数は30名でしたが、2022年12月末時点では45名まで採用を進めることが出来ました。これにより、2022年10月期の営業利益は2017年10月期から2019年10月期までの3期平均に比して144.6%と大幅に改善いたしました。加えて、一人当たり営業利益は同比105.8%となっており、新卒従業員を含めて15名増員したにもかかわらず一人当たりの生産性を高めることが出来ました。(SDGs ゴール8:働きがいも経済成長も)
- ・ 当社の投資実施後に3名の女性従業員を採用し、現在は11名の女性従業員がウッドテックで活躍しています。厚生労働省の実施した「労働力調査」の「建設業における女性の就業者数と比率」では、業界平均が2020年度16.7%だったのに対し、ウッドテックでは2019年時点で26.7%、2022年時点でも24.4%と業界平均に比して高い水準を維持しております。また、厚生労働省の「雇用均等基本調査」では建設業における女性新卒者を採用した企業は全体の30.5%に留まるという結果が出ております。ウッドテックでは2021年4月に女性従業員2名を新卒採用しておりジェンダー平等の実現に積極的に貢献して参りました。(SDGs ゴール5:ジェンダー平等を実現しよう)

#### 【Governance (ガバナンス)】

- ・ ウッドテックの取締役会は代表取締役社長である小野寺弘行氏と、当社が派遣した社外取締役2名、並びに社外監査役1名で構成されました。経営者の意向を最大限に尊重しつつも、適切な牽制機能が発揮されバリューアップ施策の遂行に寄与しました。
- ・ 2022年11月に実施した組織変更により、これまで配置の無かった各拠点の支店長及び支店長代行のポストを設置いたしました。ベテラン社員1名と将来的に経営のかじ取りを期待する中堅社員2名を登用し、これまで代表取締役社長が担っていた権限の一部を委譲しました。これにより、組織における意思決定を取締役会や代表取締役社長から分散し、相互の牽制機能と組織の有機的な成長が期待できる体制を構築いたしました。

以上

### 〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 20 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超）を誇る。現在は、NHC として 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、ローカルフォリオ、ウィルミナ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業、エスエーティ、リードプラス、平世美装、BIQREA ホールディングス、トルクシステム、イデアル、黒姫グループ、AC ワークス、タカフジ、ソルテック、KAIXIA など、開示可能なエクイティー投資先だけで約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921